

「第39回くしろ消費者まつり」出展報告



1. 主催：くしろ消費まつり実行委員会（構成：釧路市、釧路消費者協会）
2. 参加団体：釧路支庁、釧路市、北海道電力、釧路ガス、FAMICなど14団体
3. 開催日時：平成23年2月5日（土）～6日（日）
10：00～16：00（6日は15：00まで）
4. 開催会場：釧路市観光国際交流センター（釧路市幸町3-3）
5. 来場者数：主催者発表 約14,000人
6. 出展内容
 - 6.1 パネル展示
「ハロゲンヒーターから発火」「テーブルタップ等で火災」「低温やけどを負った事故」「IHこんろで発火事故」「石油ストーブで火災」など9枚
 - 6.2 事故品等展示
「テーブルタップ」「カセットこんろ」「扇風機」「ハロゲンヒーター」「二重構造なべ」
 - 6.3 再現実験
コードを束ねて使用すると熱をもって危険であることを、ストーブを使った通電実験により、実感していただきました。
 - 6.4 配布物
「身・守りハンドブック2010」「つついいうっかりが危険な事故に」「社告一覧」「長期使用製品に関するリーフレット」など
 - 6.5 ビデオ放映
「NITEが取り組む製品事故の原因究明」
 - 6.6 クイズラリーへの参加
各ブースを回って回答を探すクイズラリーに参加しました。今回は、大人用クイズ、子供用クイズに分けて行われました。

7. 概要報告

「くしろ消費まつり」は、「消費生活の安全且つ持続可能で健全な消費生活の構築を目指し、生活者の視点で各種の啓発を行う」ことを目的に毎年開催されておりますが、NITEからは今回の出展で4回目となりました。当まつりは、釧路市の一大イベントである氷祭りに合わせて行われているもので、今年も大勢の市民が参加され、NITEブースにも大勢の方が訪問されました。訪問された方に対しては、職員が、事故品やパネルについて事故の原因や対策を説明したところ、大変勉強になったとの声も聞かれました。また、コードを束ねた通電実験では、触ってみて、大変熱くなることを実感され、驚かされている様子が印象的でした。



大勢の人で賑わう
消費者まつり



N I T Eブースにも
多数の人が訪問されました。



事故品を熱心に見入る来場者